

ピアノ 田中 拓未 (たなか たくみ)

1975年、東京都生まれ。1998年よりドイツ、フライブルク市へ留学。2005年には、スペイン、マヨルカ島において国際音楽祭にヴァイオリニスト、田島隆弘氏と共に招待される。また、2006年11月には、フライブルク市 Historische Kaufhaus に於いて独日協会後援による室内楽コンサートを主催する。

2007年に帰国。2008年東京オペラシティにて帰国記念リサイタルを開催。同3月より東京都足立区にある「わたなべ音楽堂」に於いてサロンコンサートシリーズをスタートさせる。聴衆と奏者が一体感を感じられるようなアットホームな演奏会をこころざしている。これまでにドイツ3大B（バッハ、ブラームス、ベートーヴェン）によるプログラムを始め、ブラームスヴァイオリンソナタ全曲演奏会や、シューベルト「冬の旅」全曲演奏会など、室内楽を含めてドイツの作曲家の演奏に特に力を入れている。また、これまでに日本、ドイツ国内各地でソロおよび室内楽で200回を超えるコンサートを行う。

2012年7月、横浜、東京、水戸において元ウィーンフィルの首席クラリネット奏者のペーターシュミードル氏とチャリティコンサートを行う。また、11月に元ウィーンフィルコンサートマスターのウェルナー・ヒンク氏、ウィーンフィル首席チェロ奏者のフリッツ・ドレシャル氏と共に宮城県石巻市、仙台市にて東日本大震災の被災者の為に、ベートーヴェン、シューベルトのピアノトリオを中心にチャリティーコンサートを行う。

これまでにピアノを松下匡美、岡崎悦子、ヘルムート・ブラウスの各氏に師事、またドイツ留学ではフライブルクにてフェリックス・ゴットリーブ、トロッシンゲンにてヴォルフガング・ヴァーゲンホイザーの各氏に師事、また室内楽をライナー・クースマウル、ミハエル・パウマン、ヨルク・ヴィットマの各氏に師事。

Special Thanks Dear You...

主催・企画・演出：夢F.C.株式会社 藤原多美 水岡 祥二

次回、花ふらりミニミニコンサートは12月5日(土)6日(日)です。
フルート・ファゴット・ピアノの三重奏・詳細は⇒<http://arkweb.co.jp/>

“夢F. C.” ゆめえふしー は旅行会社です
◆日本国内から海外まで、個人・家族・グループ・
ビジネス問わずお気軽にお問い合わせください。

※旅行相談 ※旅行企画 ※ツアーコンダクター

※航空券・宿泊・チケットなど手配 ※渡航手続代行

◆遠方から家族や親せき、友人や知人が来訪された
際に、弟子屈町および近隣をご案内いたします、

◆コンサート企画もやっています。

おと
旅

夢F. C. 株式会社
弟子屈町屈斜路181
代表取締役 藤原多美

Tel&Fax: 015-482-2543
Mail 3219@yumefc.hokkaido.jp
HP <http://yumefc.hokkaido.jp/>
2015年12月旅行業開業予定

花ふらり ミニミニ コンサート in 2015 Autumn

ドイツの作曲家2大B バッハとベートーヴェン

プログラム



2015年10月17日(土)18日(日)

於：宿・花ふらり

前半

- ♪ エルガー 愛の挨拶
- ♪ ベートーヴェン エリーゼのために
バガテル 作品 126-3
6つのエコーセーズ
ピアノソナタ 第3番 作品 2-3
I. Allegro con brio
II. Adagio
III. Scherzo
IV. Allegro

ベートーヴェンのソナタ第3番は24歳頃の作品です。ピアノソナタ第1番から3番までをセットにして、作品2として出版し、師匠であるハイドンに献呈されました。

両端楽章での整った構成と第2楽章での深い叙情性、またスケルツォ楽章の起用、そして全体においてピアノの交響的な奏法等は、後のベートーヴェンの特徴がすでに存分に伺える作品になっています。



後半

- ♪ シューベルト 楽興の時 第3番
- ♪ シューマン トロイメライ
- ♪ ショパン ワルツ 嬰八短調 作品 64-2、1
- ♪ バッハ フランス組曲 第1番
Allemande
Courante
Sarabande
Menuet I,II
Gigue

バッハのフランス組曲は同じ調性による、アルマンド、コルンテ、サラバンド、ジグと古い舞曲を集めて一つの作品としたものです。ジグの前にメヌエットなどの舞曲が入ることがあります。そして6の組曲をセットにして発表されました。他にイギリス組曲、パルティータ（イタリア語で組曲）があり、これらと比べるとフランス組曲は規模の小さなものです。

- ♪ バッハ=ブゾーニ シャコンヌ

バッハのシャコンヌ（舞曲の一種で、バスをもとに変奏されていく）はヴァイオリンソロのパルティータの中の一曲です。このバッハの音楽を現代のピアノの可能性を最大限に利用した、オルガンやオーケストラの響きをイメージした独特な世界に編曲されています。